

令和8年度宮崎県立高等学校推薦・連携型及び一般入学者選抜における 学力検査実施教科及び出題方針

宮崎県教育委員会

1 実施教科について

- (1) 推薦・連携型入学者選抜については、各学校が、国語、数学、外国語（英語）の3教科以内を指定する。
- (2) 一般入学者選抜については、国語、社会、数学、理科及び外国語（英語）の5教科とする。

2 全般的な出題方針について

- (1) 中学校学習指導要領に示されている各教科の目標に即し、特定の分野や内容に偏ることなく、広い範囲から出題する。
- (2) 出題に当たっては、各教科で育成を目指す資質・能力に必要な「知識及び技能」や「思考力、判断力、表現力等」をみるようにする。

3 各教科の出題方針について

○ 国語

中学校国語の学習内容全般について、国語で正確に理解し適切に表現するために必要な「知識及び技能」や「思考力、判断力、表現力等」をみるようにする。

○ 社会

中学校社会の学習内容全般について、グローバル化する国際社会を主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な「知識及び技能」や「思考力、判断力、表現力等」をみるようにする。

○ 数学

中学校数学の学習内容全般について、数量や図形及びそれらの関係などに着目して事象を捉え、数学的に考えるために必要な「知識及び技能」や「思考力、判断力、表現力等」をみるようにする。

○ 理科

中学校理科の学習内容全般について、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な「知識及び技能」や「思考力、判断力、表現力等」をみるようにする。

○ 外国語（英語）

中学校外国語（英語）の学習内容全般について、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図るために必要な「知識及び技能」や「思考力、判断力、表現力等」をみるようにする。